

# 授業科目 教育相談

【担当教員名】 山崎 史恵		対象学年	3	対象学科	健康・スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 学校における教育相談の意義や進め方、技法についての基本的な知識を理解するとともに、学校現場でみられる児童・生徒の種々の問題（不登校やいじめ、不適応行動、心身の症状など）について理解を深める。具体的な事例を参考にしながら、生徒の問題の背景にある要因や対応について適切な判断と対応、および多角的な考察ができることを目標とする。また、教師の役割を踏まえたうえで、他機関や保護者との連携についても理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育相談の領域と独自性、効用、および限界について学ぶ。</li> <li>2. 児童生徒の心理的問題の現れ方、および問題の種類とその対応について学ぶ。</li> <li>3. 児童生徒の心の健康について理解を深める。</li> <li>4. 生徒や保護者の話を聴き、相手を理解するための基本的態度と技能を身につけ、実践力を養う。</li> <li>5. 他の教員や専門家、他機関との連携を取る際の基本的な態度と留意点を学ぶ。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	オリエンテーション：教育相談とは	1	講義（実習を含む）・小レポート		
2	相談のためのルール、枠組み、構造	1	講義（実習を含む）・小レポート		
3	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2	講義（実習を含む）・小レポート		
4	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
5	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
6	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
7	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
8	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
9	児童生徒の心の健康	3	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
10	児童生徒の心の健康	3	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
11	生徒および保護者を理解するための方法（カウンセリング・相談面接）	4	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
12	生徒および保護者を理解するための方法（遊戯・表現療法などの言語以外のアプローチ）	4	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
13	生徒および保護者を理解するための方法（保護者への支援）	4	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
14	教育相談における連携の問題	5	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート		
15	ロールプレイ実技およびレポート	2, 3, 4	レポート		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		スクールカウンセリング モデル 100 例	かしまえりこ、神田橋條治	創元社	2006・3,200 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況（20%）、授業内レポート（20%）および期末レポート（20%）にて総合的に評価			【履修上の留意点】		